

イネ科及びブタクサ花粉の飛散状況等に関する研究 (H31~H32)

衛生環境研究所

背景・目的

アレルギー疾患対策基本法施行(H27)

山梨県地域保健医療計画見直し(H29)

山梨県アレルギー疾患対策協議会設立(H30)

山梨県の花粉症有病率は全国上位

有病率の高い花粉に関する研究と情報提供が必要

●スギ・ヒノキ花粉症に次いで有病率の高い、イネ科・ブタクサ花粉に関する情報が不足



●スギ・ヒノキ・イネ科・ブタクサの花粉飛散状況や花粉の基礎知識、花粉症予防、治療等に関する情報をワンストップで提供し、花粉症の予防対策や疾病対策につなげたい。

研究内容

1年目

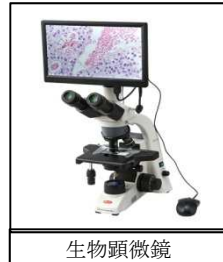
- 1 イネ科・ブタクサ花粉の飛散状況調査
- 2 イネ科・ブタクサ花粉の飛散と気象や周辺植生との関連性を解析
- 3 山梨環境アレルギー研究会との共同研究による効果的な情報発信

花粉飛散状況や花粉基礎知識、予防、治療等に関する情報を提供するポータルサイトを開設するとともに、冊子を作成

※研究会代表は、山梨県アレルギー疾患対策協議会会長の増山教授

2年目

- 1 イネ科・ブタクサ花粉の飛散状況調査
- 2 イネ科・ブタクサ花粉の飛散と気象や周辺植生との関連性を解析
- 3 イネ科・ブタクサの開花状況を観測
- 4 山梨環境アレルギー研究会との共同研究による効果的な情報発信



生物顕微鏡



花粉捕集器

期待される効果

有病率の高い花粉症情報の把握

効果的な情報発信

花粉症の予防対策や疾病対策に寄与

県のアレルギー疾患対策の推進